

パリ DAC 通信(サウジアラビアが DAC リストから卒業することが確実へ)

サウジアラビアが DAC リスト(ODA 受取国リスト)から卒業することが確実となりました。

■ ODA 受取国を定めた DAC リスト

DAC では、国民総所得の水準により、後発開発途上国(LDC)、その他低所得国(OLIC)、低・中所得国(LMIC)、高・中所得国(UMIC)の4つのグループに分かれる ODA 受取国リスト(DAC リスト)を定め、3年に一度見直しを行っており、3年連続で一人当たり国民所得が上限額を上回った国は、DAC リストから卒業するルールとなっています。

DAC リスト(2005~2007年用)概観

グループ	一人当たり国民所得(2004年値)	国数(領土等も含む)
後発開発途上国(LDC)	国連基準	50
その他低所得国(OLIC)	<\$825	18
低・中所得国(LMIC)	\$ 826 - \$ 3255	48
高・中所得国(UMIC)	\$ 3256 - \$ 10065	36

■ 3年連続で国民所得が上限を上回ったサウジアラビア

過去3年間のサウジアラビアの一人当たり国民所得は、\$ 10, 810(2004年)、\$ 12, 540(2005年)、\$ 13, 980(2006年)であり、DAC リストの各年の上限額を上回りました。このため、サウジアラビアは2009年統計報告(2008年1月以降のフロー)から ODA 適用外とされることが確実となりました。

■ その他9カ国も国民所得が一段高いグループに移行へ

ブラジル、カーボヴェルデ、カメルーン、コンゴ民、カザフスタン、モルドバ、モンテネグロ、ニカラグア、セルビアの9カ国も、上記グループの中で国民所得がそれぞれ一段高いグループに移行することが予定されています。特にカーボヴェルデは LDC を卒業する予定です。一方で、国民所得がより低いグループに移行する国は無い予定です。

■ ODA の供与先は LDC、OLIC、LMIC が中心

DAC メンバーによる ODA(ネット値)のうち、一人当たり国民所得が \$ 3000ドル以上の国への割合は2~3%程度であるため、サウジアラビアの DAC リストからの卒業による統計上の影響はほとんどありません。今後も ODA の供与先は LDC、OLIC、LMIC が中心となるでしょう。

(DAC リストは、<http://www.oecd.org/dataoecd/23/34/37954893.pdf> をご覧下さい)